

医歯学総合研究科
大学院セミナー
(医歯学研究講義認定)

意思決定行動と精神疾患病態における
神経回路機構の解析

講師: 疋田貴俊 先生

大阪大学蛋白質研究所高次脳機能学研究室・教授

日時: 6月5日(水曜日) 16:20~17:50

場所: 共通教育棟 4階 402号室

正ならびに負の報酬刺激に対する意思決定行動は動物にとって生存に必須である。意思決定行動の異常は統合失調症やうつ病など多くの精神疾患で見られ、不自由な日常生活の一因となっている。私たちは、これまで大脳基底核神経回路に着目して、報酬・忌避に基づく意思決定行動の脳内基盤と精神疾患病態を解析し、直接路は報酬行動及び薬物依存行動に、間接路は忌避行動及び行動柔軟性にそれぞれ重要であることを示してきた。さらに、パブロフ型条件付け学習や逆転学習といった高度な意思決定行動において、直接路と間接路がそれぞれ別々の役割を担っていることが分かってきた。精神疾患でみられる行動異常の背景に、これらの神経回路機構の破綻を想定し、精神疾患モデルマウスでみられる神経回路病態の解析をすすめている。

- 1) Hikida et al., Neuron 66: 896-907, 2010
- 2) Hikida et al., PNAS 110: 342-347, 2013
- 3) Macpherson & Hikida, Front Neurosci 12: 418, 2018

大学院生向けのセミナーですが、教員、医員、学生の皆様のご来聴も歓迎します。

問合せ先: 神経筋生理学分野 田川義晃 (内線 5234)